

参加者募集 No.11-11シンポジウム

燃費改善・CO₂ 低減技術の最前線 ~エンジン・燃料・潤滑油各要素の新技术~

* Professional Course

問合せ先：育成・イベントグループ 大平 Tel. 03-3262-8214 Fax. 03-3261-2204

【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2011/scdl.php> E-mail: sympo@jsae.or.jp

日時：2012年1月26日(木) 9:30~16:40
会場：工学院大学アーバンテックホール
(東京都新宿区西新宿1-24-2)
主催：公益社団法人自動車技術会
協賛：(予定) (公社)石油学会
(一社)日本エネルギー学会
(一社)日本機械学会
(公社)日本マリンエンジニアリング学会
日本内燃機関連合会
(社)日本陸用内燃機関協会

企画：ディーゼル機関部門委員会／燃料・潤滑油部門委員会
定員：120名

参加費(消費税込・テキスト1冊込)：

正会員 15,750円 学生会員 3,150円
賛助会員 22,050円 一般の方 31,500円
協賛学協会の会員 22,050円

参加申込方法：次のいずれかの方法でお申込み下さい。

- ①オンライン参加登録：(カード決済ができるようになりました) イベントカレンダー(【URL】 <http://www.jsae.or.jp/calendar/>) または シンポジウムページ(【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2011/scdl.php>)
- ②インターネットをご利用できない方：
上記、問合せ先へご連絡下さい。

参加申込締切日：2012年1月19日(木)

参加申込キャンセルについて：

申込締切日まで：キャンセル料は発生いたしません。ご入金済の場合は、送金手数料を除き返金いたします。

申込締切日翌日以降：ご出欠にかかわらずキャンセル料として、参加費全額をお申し受けます。なお、開催終了後、テキストは送付いたします。

参加のおすすめ

東日本大震災を経験しエネルギー政策の大幅な見直しが議論される中、エネルギー保障と安全性を含めた「リスク分散」と「地球温暖化対策」を一体化した取り組みが必要です。さらに、自動車分野では2015年に新たな燃費基準が導入されることを踏まえ、本シンポジウムでは燃費改善・CO₂低減を中心に、ディーゼルエンジン・燃料・潤滑油技術の最前線をご紹介します。

ディーゼル機関部門委員会委員長 石山拓二
燃料・潤滑油部門委員会委員長 石井 素

ディーゼル機関部門委員会



委員長 石山拓二 幹事 内田 登 幹事 木戸口善行 幹事 稲垣和久 幹事 小熊光晴

燃料・潤滑油部門委員会



委員長 石井 素 幹事 飯塚 正 幹事 首藤登志夫

*技術者育成の要素を持ったシンポジウムを技術レベルにより技術者育成講座として認定しています。

Standard Course：基礎，Intensive Course：中級，Professional Course：上級

プログラム：

- 9:30 開会挨拶 ディーゼル機関部門委員会委員長
京都大学 石山拓二氏
- 司 会 小熊光晴氏(独)産業技術総合研究所
- 9:45 ディーゼルエンジンのさらなる燃費向上の可能性
北海道大学大学院 小川英之氏
- 10:25 欧州および日本における商用車次期排出ガス規制への技術動向
ボッシュ(株) 上田 敦氏
- 11:05 休憩
- 11:15 バイオマス由来ディーゼル代替燃料使用時のNO_x排出特性
(独)交通安全環境研究所 水嶋教文氏
- 11:55 ディーゼルレポリューションへの挑戦
—超高压化とシステム制御の融合—
(株)デンソー 小島昭和氏
- 12:35 休憩
- 司 会 首藤登志夫氏(首都大学東京)
- 13:35 2020年度乗用車燃費基準 国土交通省 梶原敦人氏
- 14:15 バイオエタノールエンジン搭載大型商用車について
スカニアジャパン(株) 澤木雅人氏
- 14:55 休憩
- 15:10 HVO(水素化バイオ軽油)がディーゼルエンジンの燃焼・排気に及ぼす影響
トヨタ自動車(株) 杉山宏石氏
- 15:50 無リン無灰エンジン油の開発
出光興産(株) 岩崎純弥氏
- 16:30 閉会挨拶 燃料・潤滑油部門委員会委員長
(独)交通安全環境研究所 石井 素氏
- 16:40 閉会

◆プログラムは講師、会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。